事業概要：若狭町未来戦略事業～自然の恵みを生かした多様な地場産業の磨き上げ～

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">福井県若狭町</td><td>初回採択回</td><td>令和８年１月募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R8-R10年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR8年度事業費）</td><td>636,092千円
（32,950千円）</td></tr>
<tr><td>事業分野</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野（大項目）</td><td>地場産業支援関連事業分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">若狭町は、豊かな自然による農業、漁業、さらには、観光業、食品加工や飲食サービス、生産業等の地場産業を有しているが、各産業に共通の課題である、担い手不足や雇用の確保、新たな事業領域の拡大を図ることが難しく、地域経済が衰退している。これに対して、各産業の共通の課題を共創の場や共有のビジョンを作り、各地区の若者がチャレンジできる拠点を整備することで、すべての産業が連携し地域経済循環を高め、生産年齢人口一人当たりの労働生産性を向上させ、将来にわたって若狭町の付加価値総額を高める。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR8年度事業費</td><td colspan="5">【事業概要】
（仮称）鳥羽多機能拠点施設を整備し、チャレンジスペースやキッチンを活用し、地元の若者が、町内の農生産品等の試作販売、観光・広報、オフィスの設置等ができる施設とすることで、多様な地場産業育成の拠点とする。あわせて、三方五湖周辺エリアにある道の駅や博物館等を活用し町全体の魅力を高め、観光業を含めた多様な地場産業を連携し労働生産性を向上させるためのワークショップ等を開催する。
多機能拠点、三方五湖周辺エリアの連携による地域経済循環を将来にわたって推進するために、ビジョンを共有し共創の場となる若狭町まちづくりマスタープラン策定事業を推進し、まちづくり協議会を設置する。

【ソフト事業】
・若狭町まちづくりマスタープラン策定事業（11,319千円）
・多機能拠点施設のデジタル活用事業（5,611千円）
・三方五湖周辺エリアの魅力向上による地場産業振興事業(5,015千円)
【拠点整備事業】
・(仮称)鳥羽多機能拠点施設基本設計（11,005千円）</td><td colspan="3">
</td></tr>
<tr><td>主なKPI
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="5">①生産年齢人口１人当たりの労働生産性増加割合（＋12.5%）
②生産年齢人口割合の前年度比の増加割合（＋0.8%）
③多機能拠点施設のチャレンジスペースを利用する事業者数(＋15事業者)
④三方五湖周辺エリア等のイベントでの新商品開発件数（14商品）</td><td>URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL</td><td>https://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/gyoseijoho/chihososei/1529.html</td></tr>
</table>